

多様な楽器の音色と演奏の仕方を理解し、楽器表現に親しむための工夫

「読みやすい譜、弾く糸が分かりやすい箏」

子どもについて	学部・学年・学級	特別支援学校・高等部1～3学年	
	障がい名等	知的障がい	
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	音楽科	
	単元(題材)名	箏の響きを味わおう～友達と美しい音色を奏でよう～	
	単元(題材)の概要	第一次：箏の基本的な奏法に触れ、「さくらさくら」を演奏する。 第二次：簡素化した「竈門炭治郎の歌」を「旋律Ⅰ」「旋律Ⅱ」「伴奏」に分けたパートを実態に応じて担当し、曲想に合った表現方法を工夫したり、合奏したりする。	
教材・教具・支援機器について	教材・教具・支援機器	番号と色シールを貼った「譜」 	弦の色と番号を分かるようにした「箏」 
	ねらい・工夫点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 譜を読むことは難しいため、色シールと番号の表示を手がかりに演奏できるようにした。 ・ 実態差のある学習集団のため、担当するパートや譜、箏の表示、言葉掛けの仕方などを個々の実態に応じて調整した。 	
子どもの変容や評価	材料・作成方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 箏(糸または龍角)に楽譜と同じ記載したシール(必要に応じて色分け)を表示をした。 ・ 必要な生徒には楽譜の色分けと同じ色の刺繍糸を、箏の糸に添わせた。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 譜と箏の表示を手がかりに一人一人の方法で演奏をすることができるようになった。その中で一人一人が目標や目指す演奏の在り方について考えたり練習をしたりできるようになった。 ・ 場面ごとに具体的な音のイメージを持って言語化できるようになり、言葉の表現が豊かになった。演奏でも、音を変化させるための技能も高めることができた。 	